

## 令和4年度 事業報告

我が国の総人口は、令和5年3月の概算値では1億2,449万人で前年比61万人の減少となり、65歳以上の人口は3,621万人となり高齢化率は29.1%となりました。小平市の65歳以上の高齢者人口は、約4万6千人で高齢化率23.5%と令和22年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり更なる高齢化率の上昇が見込まれています。「少子高齢化」や「働き方改革」等によって人手不足の社会状況の中で、就業意欲がある高齢者の施策はこれからも進められ、シルバー人材センター事業への期待感も高まると考えられます。

当センターの令和4年度の事業活動は、コロナ禍ながらも柔軟な対応による展開により着実に実行できました。派遣事業の実績は減少となりましたが、請負・委任の事業実績は会員と役職員の連携による努力の結果、会員数と共に増加となりました。また、表彰規程等を見直したことにより、センター事業に永年貢献した多くの会員を表彰することができました。就業においても基準を見直したことにより、年齢に縛られずに適した就業の提供に努めることができました。具体的には以下の3つの事業を核として事業計画に沿った取り組みを実施しました。

1つ目は、就業の提供と会員数の拡大です。パネル展は実施体制を縮小しながらも新規入会に効果がありました。また、会員によるリーフレットの市内全戸配布に多くの反響がありました。市報こだいら2月20日号一面にセンターの記事を掲載していただきました。このような市報掲載やパンフレットのポスティングは大きな効果があり、会員拡大に繋がりました。

2つ目は、安全を意識した取り組みとして、委員会による就業現場の巡回では、7月、10月、12月に安全就業の点検を実施しました。巡回時には会員証のみならず「緊急連絡先カード」の携帯確認を実施しました。また、自転車を利用する会員に向けてヘルメットの着用を呼び掛けた結果、少ないながらも反響がありました。ヘルメット着用の努力義務化により定着していくように努めていきます。

3つ目は、地域社会貢献活動として、地域の防犯・見守りを兼ね、「防犯」の腕章をして約400人の会員が公報誌等を全戸配布する事業や、小平市との「空き家等情報の提供に関する協定」に基づく活動を実施しました。ボランティア清掃活動では、恒例の市内幹線道路の一斉清掃は規模を縮小して委員会を主体に役職員と高齢者館の就業会員を増員して実施しました。

依然として新型コロナウイルスの猛威は、センター事業に大きな影響がありました。業務によっては未だに再開できていない就業があるものの、コロナ前に比べ事業実績は回復してきました。このような中、令和4年度事業実績は、契約金額が約4億6,720万円で、前年度比4.9%の増加でした。契約件数は7,682件で、前年度比1.9%の増加でした。年間就業延べ日・人員は12万5,709日・人で、前年度比7.6%の増加、就業実人員は962人で5.4%の増加でした。就業率は79.2%で、前年度比1.0ポイントの増加でした。

労働者派遣事業の契約件数は、105件で前年度比14.6%の減少、契約金額は1,703万円で、前年度比15.1%の減少となりました。参議院選挙事務補助では、155名の会員が就業しました。

コロナ禍において、計画的なポスティング活動等による効果によって会員拡大に繋がり、年度

末会員数は、1, 215人で、4.1%増の2年連続の増加となりました。

以下、主な事業の実施状況について報告いたします。

## 1. 就業の機会確保と提供

- (1) シルバー人材センター等労働者派遣事業は、「公益財団法人東京しごと財団小平派遣事業所」として、派遣事業では2回目の選挙事務補助を受注し契約金額が順調に拡大しました。
- (2) 就業拡大員をセンターに置き、民間事業者や家庭を対象としてリーフレットの配布や訪問活動を行い、センター事業への就業機会の拡大や会員増強に取り組みました。
- (3) 家庭で困っていることを安価で速やかに対応する「暮らしのサポート隊」事業を定着させ、就業機会の拡大に努めました。
- (4) 就業促進委員を中心に新入会員説明会の日程を入れた「会員募集チラシ」を作成し、重点的に会員数の少ない地域に配布し、会員増強と就業の開拓に努めました。
- (5) 平成28年9月に策定された「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の周知に努めました。
- (6) 「市報こだいら」一面にセンターの記事が掲載されたほか、学習教室の受講生募集、シルバーガイドの募集記事を掲載し就業拡大、会員増強に努めました。
- (7) 「就業の提供に関する取扱い基準」によって、継続業務における会員の就業を年齢に縛られずに安全を考慮しながら、就業を提供することができました。

## 2. 研修・講習等

- (1) 就業機会の拡大、事業運営の強化、及び就業に必要な知識・技能の付与・向上等を目指して、以下の研修等を実施、受講・参加しました。コロナ禍ながらも、植木職会員のステップアップ研修や四ツ目垣作成研修を実施しました。  
(下記は集合型又はリモート・書面開催による)

### ① 東京しごと財団主催の研修等

「安全リーダー研修」(役員) 「新任安全管理委員勉強会」(役員) 「シルバー保険事故対応力向上研修会」(職員・事例発表) 「転倒予防勉強会」(会員) 「自転車安全利用講習会」(会員) 「人権・非行防止・個人情報保護研修」(職員) 「経営管理研修」(役員) 「決算実務研修」(職員) 「中堅職員研修」(職員) 「営業力強化研修」(職員) 「総会運営研修」(職員) 就業開拓勉強会(職員)

### ② 第5ブロック主催の研修等

「安全就業推進のつどい」(役員・会員) 「職員実務研修」(職員)

### ③ センター主催(支援)の研修等

「コンプライアンス・個人情報保護研修」(会員) 「健康チェック」(会員)  
「植木職研修会(ステップアップ・四ツ目垣)」(会員)

## 3. 社会奉仕活動の促進

- (1) センター役職員及び広報・ボランティア委員会と高齢者館就業会員を増員して、市内幹線道路の一斉清掃を実施しました。
- (2) 公報等の配布事業は、約400名の会員が揃いのジャンパー、「防犯」の腕章を着用して

市内全域で一斉に活動したため、センター事業のPRはもとより、防犯や犯罪抑止に繋がり、地域社会に貢献することができました。

(3) 「空き家等情報の提供に関する協定」について、公報等配布時に空き家調査を行い、この年度は小平市へ345件の情報を提供しました。

(4) 広報・ボランティア委員会主体で、ボランティアとして東京マラソンに参加しました。

#### 4. 調査研究

(1) 社会参加の促進を図るため、AED取扱い研修、普通救命救急講習を行いました。

(2) 指定管理者業務を継続的に受注することを目的として利用者アンケートを実施し、管理員の対応が、「良い」・「普通」が有料自転車駐車場は93.9%、高齢者館は100%という評価は、会員が一生懸命努力している結果であると捉えます。

(3) 労働者派遣事業の拡大で課題としていた選挙事務補助に就業し、反省点等を検証して今後の改善事項としました。

(4) 公報等配布事業部会を開催し、市報こだいらの配布について会員のアンケート結果から継続検討としました。

#### 5. 相談業務

(1) 就業促進委員会委員を相談員とした「総合相談コーナー」は、感染防止対策をしながら開催しました。

(2) 就業促進委員会主体での就業等相談会を行い、参加者のほとんどを就業に結び付け、退会抑制に繋がりました。

#### 6. 情報の収集、提供及び普及啓発活動

(1) 会員手作りの広報誌『年輪』を年4回発行し、会員の状況、センター事業に関する適切な情報提供を行い、会員相互の連帯やセンター事業活動の理解を深めました。

(2) 毎月2回の新入会員説明会で、理事が輪番でセンターの基本理念や事業内容等を説明し、趣旨に賛同いただける方の入会促進に努めました。

(3) 10月と2月に感染防止に配慮して規模を縮小しながら、センターパネル展を実施しました。

(4) ホームページを活用し、センターの事業計画、事業報告等を公開して最新の情報を会員、発注者、関係機関に発信し、情報の共有化を図り、円滑なセンター事業を促進させました。

(5) 全国シルバー人材センター事業協会、東京しごと財団、第5ブロックSC主催の各種会議に参加して、高齢者の就業に関する情報の収集と提供に努めました。

(6) センターパンフレットを市内全戸配布して、会員募集や受注拡大に努めました。

(7) 小平市の「市民便利帳」や「にじバス時刻表」、「小平市全図」のマップ、「ごみ・資源指定収集袋」に広告を掲載して、センターのPRに努めました。

#### 7. 安全就業

(1) 組織活性・安全委員、安全就業推進員等が、7月、10月、及び12月に就業現場の巡回指導を実施し、安全就業の徹底を図りました。植木職グループでは、作業現場の巡回を毎月実施しました。

(2) 「安全標語」の募集、「シルバー保険制度」の周知、交通事故傷害保険の加入促進、熱中症予防の周知を行い、安全意識の普及啓発に努めました。

(3) 自転車安全点検会を実施して、努力義務化になるヘルメットの普及と着用に努めました。

(4) センターの車両を運転する際に、酒気チェックの実施を取り入れ、バック運転する際には同乗者が降車して後方確認をする体制を整えました。

## 8. 管理・運営事項

(1) センター事業の適正かつ円滑な運営を図るため、以下の活動を行いました。

### ア 定時社員総会

開催年月日	場 所	主 要 議 題
第12回 令和4年6月21日	小平市福祉会館 市民ホール	1. 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの 計算書類等の承認の件 2. 理事1名の選任の件 3. 監事1名の選任の件

### イ 理事会

No.	開催年月日	主 要 議 題
1	令和4年4月28日	1. 入会会員の承認について 2. 令和4年度補正予算書(案)について 3. 会員等の表彰について 4. 決算監査について 5. 令和3年度事業報告(案)について 6. 令和3年度計算書類等の承認の件について 7. 理事1名の選任(案)の件について 8. 監事1名の選任(案)の件について 9. 総会の議案・報告事項等について 10. 剰余金の解消について
2	令和4年5月26日	1. 入会会員の承認について
3	令和4年6月23日	1. 入会会員の承認について 2. 公報等配布事業部会の委嘱の承認について
4	令和4年7月28日	1. 入会会員の承認について 2. センターの事務費率の改訂について
5	令和4年8月25日	1. 入会会員の承認について
6	令和4年9月22日	1. 入会会員の承認について 2. 規程等の一部改正等(案)について 3. 令和4年度ボランティア活動実施要領について
7	令和4年10月27日	1. 入会会員の承認について
8	令和4年11月24日	1. 入会会員の承認について

No.	開催年月日	主要議題
		2. 職員給与規程の一部改正（案）について 3. 職員の等級及び初任給に関する基準の一部改正（案）について 4. 職員の勤勉手当に関する基準の一部改正（案）について 5. 役員等の費用弁償規程の一部改正（案）について
9	令和4年12月22日	1. 入会会員の承認について 2. 令和5年度専門委員会事業計画（案）について 3. 役員賠償保険の加入について
10	令和5年1月26日	1. 入会会員の承認について 2. 理事・監事選考委員会委員（案）について
11	令和5年2月24日	1. 入会会員の承認について 2. 公益目的事業会計の配賦率の見直しについて 3. 令和5年度事業計画（案）について 4. 令和5年度収支予算書（案）、収支予算書内訳書（案）、資金調達及び設備投資の見込を記載した書類について
12	令和5年3月23日	1. 入会会員の承認について 2. 準職員就業規則の一部改正（案）について 3. 理事とセンターとの取引の承認について

#### ウ 専門委員会等

議名	回数
組織活性・安全委員会	5回
就業促進委員会	5回
広報・ボランティア委員会	3回
公報等配布事業部会	1回

#### エ 地域班長連絡会

3回開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため実施できませんでした。

#### オ 地域班長懇談会・地域班会議・地域懇談会等

新型コロナウイルス感染拡大に配慮して地域班会議（第6地域）を実施しました。

#### カ 仕事別グループリーダー・担当理事の懇談会

各仕事別グループから「安全管理について」をテーマに書面会議にて実施しました。